

- 問1 日本の中央銀行が担う「政府の銀行」としての役割について説明した文章として、正しいものはどれか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 国税の受け入れや、国が公共事業などの支払いに使う資金の管理を行う
 2. 日本国内で流通する全ての硬貨と紙幣を製造し、政府に納入する
 3. 政府が倒産の危機に陥った際に、無制限に資金を提供して救済する
 4. 政府が決めた税率や予算案が適切かどうかを審査し、承認を与える
- 問2 日本銀行が「政府の銀行」としての役割を果たすために行っている業務として、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。
 2. 国債の売買を通じて市場の通貨量を調節し、物価の安定を図るための政策を決定する。
 3. 不況の際、国に代わって新しい公共事業を計画し、民間の建設会社に直接発注する。
 4. 政府が運営する独立行政法人に対し、低利で運営資金を貸し付ける業務を独占的に行う。
- 問3 日本の経済において「中央銀行」としての役割を担い、日本銀行券の発行や、物価の安定を目的に金融政策を実施する機関の名前を答えなさい。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 財務省
 2. 市中銀行
 3. 金融庁
 4. 日本銀行
- 問4 日本銀行が公開市場操作において、民間金融機関から国債を買い入れる政策を実施した場合、その後の経済への影響として期待される因果関係の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が上昇し、国民の預金意欲が高まる。
 2. 市場の通貨量が減ることで、物価の上昇が抑えられ、企業の過剰な在庫投資が抑制される。
 3. 市場の通貨量が減ることで、通貨の価値が上がり、輸入品の価格が下がることで消費が拡大する。
 4. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。
- 問5 景気が悪化している局面において、日本銀行が「買いオペレーション」を実施した場合、市場ではどのような変化が起きると考えられますか。最も適切なものを選びなさい。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 民間銀行が保有する資金量が増え、企業への貸し出しや投資が行われやすくなる。
 2. 民間銀行から資金が吸い上げられるため、市場の通貨量が減少し、通貨の価値が上昇する。
 3. 日本銀行が国債を売却した影響で、市場の通貨が回収され、インフレーションが鎮静化する。
 4. 世の中の資金供給が制限されることで、銀行の貸出金利が上昇し、住宅ローンの利用が減少する。
- 問6 不況の際、日本銀行が国債の買入れを行う理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。
 2. 政府に代わって減税を実施し、個人の消費支出を直接増やすため。
 3. 市中から通貨を回収して金利を上げ、行き過ぎた景気の加熱を抑えるため。
 4. 政府の税収を増加させ、公共事業に使うための資金を直接調達するため。
- 問7 銀行と、預金を行う家計、および資金を借りる企業との間で行われる利子のやり取りにおいて、銀行が利益を得るための条件として適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。
 2. 景気が悪化した際に、銀行が貸出金利と預金金利の差をなくして資金の流動性を高めること。
 3. すべての利用者が一定の預金を行うことで、銀行が利子を支払う必要がなくなること。
 4. 家計が銀行から受け取る利子が、企業が銀行に支払う利子よりも多く設定されていること。
- 問8 家計が銀行に資金を預ける際の利子と、銀行が企業へ資金を貸し付ける際の利子の関係について、銀行が経営を成り立たせるための意図として正しい説明はどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本銀行の指示により、すべての銀行が共通の利益率を確保し、金融システムの安定を図るため。
 2. 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費などの経費をまかなうため。
 3. 預金の利子を低く抑えることで、家計の貯蓄を減らし、消費活動を活性化させるため。
 4. 貸し付けの利子を高くすることで、企業の過度な借り入れを抑制し、景気の過熱を防ぐため。
- 問9 日本の中央銀行である日本銀行は、私たちの生活に関わる重要な役割を担っています。日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し出したり、銀行から預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものはどれか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 発券銀行
 2. 銀行の銀行
 3. 国民の銀行
 4. 政府の銀行
- 問10 レジでの支払いや商品の売上に用いられる紙幣は、日本の中央銀行によって発行されています。この紙幣を発行する権限を持つ唯一の機関として正しいものを選択してください。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 造幣局
 2. 日本政策金融公庫
 3. 財務省
 4. 日本銀行
- 問11 日本銀行は、一般的な銀行とは異なる特別な役割を持つため「中央銀行」と呼ばれます。その役割の一つである「発券銀行」としての業務内容について、正しく説明しているものを選びなさい。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 個人や企業から預金を預かり、住宅ローンや設備投資のための資金を貸し出す。
 2. 日本銀行券を独占的に発行し、世の中に出回るお金の量を管理する。
 3. 政府の資金（国庫金）を預かり、税金の受け取りや公共事業費の支払いを行う。
 4. 経営が悪化した一般の銀行に対して、最後の貸し手として資金を融通する。
- 問12 現代の経済活動において、企業が株式や債券を発行して資金を調達する「直接金融」の仕組みに関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 政府が国民から集めた税金を、公共事業や経済対策を通じて企業に分配する仕組み
 2. 企業が自ら証券を売り出し、家計などの資金供給者から直接資金を調達する仕組み
 3. 日本銀行が通貨を発行し、市場の資金量を調整することで企業の活動を支援する仕組み
 4. 銀行が家計から集めた預金を原資として、企業に資金を貸し出す仕組み
- 問13 日本銀行の役割の一つである「銀行の銀行」について、その具体的な活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 新しい貨幣や紙幣のデザインを決定し、国内のすべての銀行へ強制的に配布する。
 2. 民間の金融機関（市中銀行）との間で、資金の貸し付けや預金の預かりを行う。
 3. 一般の個人や企業に対して、住宅ローンや事業資金の融資を直接行う。
 4. 国の予算を管理し、税金の徴収や公共事業への支払いを代行する。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国税の受け入れや、国が公共事業などの支払いに使う資金の管理を行う	日本銀行は国の資金（国庫金）を管理する窓口としての役割を持っています。国民が納めた税金を預かったり、国債に関する事務を行ったり、国の支出に関わる業務を行うことから「政府の銀行」と呼ばれます。なお、日本銀行が発行するのは紙幣（日本銀行券）のみであり、硬貨は政府（造幣局）が発行します。また、予算の審査や承認は国会の権限です。
問2	答え 1 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。	日本銀行は国の預金口座を管理しており、税金の受け入れや、年金・公共事業費の支払いといった国の会計事務を代行しています。この、政府の資金（公金）を扱う役割を「政府の銀行」と呼びます。なお、国債の売買を通じて通貨量を調節するのは「金融政策」としての側面です。
問3	答え 4 日本銀行	わが国で唯一の「発券銀行」であり、民間の金融機関にお金を貸し出す「銀行の銀行」、政府の資金を扱う「政府の銀行」という3つの大きな役割を持っています。通貨の価値を安定させることで、国民生活の混乱を防ぐ役割を担っています。
問4	答え 4 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。	日本銀行が国債を買い入れると、民間金融機関が自由に使える資金が増加します。これにより、市場では資金の供給が需要を上回る形となり、利子率（金利）が低下します。金利が下がると、企業は低い利息負担で銀行から資金を借りやすくなるため、工場を建てたり機械を買ったりする設備投資が促進され、景気を回復させる効果が期待されます。
問5	答え 1 民間銀行が保有する資金量が増え、企業への貸し出しや投資が行われやすくなる。	買いオペレーションが実施されると、日本銀行が代金を支払うことで、民間銀行の手元にある資金が増加します。銀行は余った資金を企業への融資や個人へのローンに回そうとするため、市場全体の金利が低下し、経済全体にお金回りやすくなります。これは不景気を脱出するための典型的な金融政策の手法です。
問6	答え 1 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。	不況時に日本銀行が国債を買い入れると、代金が市中の金融機関に支払われることで通貨量が増加します。これにより金利が低下し、企業や個人が資金を借りやすくなるため、投資や消費が促されて景気が回復へと向かいます。
問7	答え 1 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。	家計から銀行へ預けられたお金は、銀行を通じて企業への貸し出しに回されます。銀行がこの業務を継続するためには、家計に対して支払う「預金金利」というコストよりも、企業から受け取る「貸出金利」という収益が大きくならなければなりません。この仕組みによって生まれる「利ざや」が、銀行の店舗運営費や従業員の給与、そして銀行自体の利益に充てられることとなります。もし預金金利の方が高くなれば、銀行は赤字となり、金融仲介の機能を維持できなくなります。
問8	答え 2 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費などの経費をまかなうため。	銀行も一つの企業として営利を目的としており、従業員の給与やシステム管理、店舗運営のための費用が必要です。そのため、預金者に対しては低い利子を支払い、一方で資金を貸し付ける側からは高い利子を受け取るという仕組みによって、運営に必要な利益を確保しています。もし貸し付けの利子が預金の利子を下回れば、銀行は逆ざやの状態となり、経営を継続することが困難になります。
問9	答え 2 銀行の銀行	日本銀行は一般の個人や企業と直接取引をするのではなく、民間銀行を相手に預金や貸し出しの業務を行います。この機能は、一般の銀行にとっての銀行であるという意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。その他の役割として、紙幣を発行する「発券銀行」や、国の税金を管理する「政府の銀行」としての側面も持っています。
問10	答え 4 日本銀行	日本銀行は日本の中央銀行であり、国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する「発券銀行」としての役割を担っています。混同されやすい造幣局は、紙幣ではなく硬貨（貨幣）を製造する機関です。日本銀行は、通貨の供給量を調節することで物価の安定を図る重要な役割を果たしています。
問11	答え 2 日本銀行券を独占的に発行し、世の中に出回るお金の量を管理する。	日本銀行は、私たちが普段使用している一万円札や千円札などの「日本銀行券」を唯一発行できる機関です。この「発券銀行」としての機能を通じて、通貨の供給量をコントロールし、お金の価値を一定に保つ役割を果たしています。政府の資金を扱うのは「政府の銀行」、一般の銀行に融資を行うのは「銀行の銀行」としての役割であり、個人との取引は行いません。
問12	答え 2 企業が自ら証券を売り出し、家計などの資金供給者から直接資金を調達する仕組み	資金が必要な企業が、株式や債券といった証券を発行し、それを投資家（家計など）が直接購入することで資金が流れる仕組みを直接金融といいます。金融機関はあくまで売買の仲介（証券会社など）を行うのみで、銀行預金のように「一度銀行の資産として預かる」工程を経ない点が特徴です。選択肢にある「銀行による貸出し」は間接金融の説明であり、直接金融とは資金の流れが異なります。
問13	答え 2 民間の金融機関（市中銀行）との間で、資金の貸し付けや預金の預かりを行う。	「銀行の銀行」とは、私たち個人や企業ではなく、民間の金融機関を相手に取引を行う役割のことです。日本銀行は民間の銀行から預金を預かったり、資金が不足している銀行に対して融資を行ったりすることで、金融システム全体の安定を図っています。一般の個人や企業が日本銀行に口座を作ったり、直接お金を借りたりすることはできません。